

演習 刑事訴訟法 2023年6月号参考文献

一橋大学教授 緑 大輔

*学習者が比較的容易に手にとることができる文献を中心に掲げる（一部、やむを得ず論文集等を掲げる場合がある）。

1. 対物的強制処分への付随的措置・強制採尿令状による連行の概説

- ・川出敏裕『判例講座刑事訴訟法 捜査・証拠篇〔第2版〕』（立花書房，2021年）128-152頁，187-202頁。
- ・宇藤崇ほか『刑事訴訟法〔第2版〕』（有斐閣，2018年）127-135頁，154-160頁。
- ・酒巻匡『刑事訴訟法〔第2版〕』（有斐閣，2020年）116-124頁，147-156頁。
- ・池田公博=笹倉宏紀『刑事訴訟法』（有斐閣，2022年）81-86頁，100-102頁。
- ・田淵浩二『基礎刑事訴訟法』（日本評論社，2022年）86-94頁。
- ・吉開多一ほか『基本刑事訴訟法Ⅱ 論点理解編』（日本評論社，2021年）75-83頁，95-102頁。
- ・斎藤司『刑事訴訟法の思考プロセス』（日本評論社，2019年）96-105頁，123-138頁。

2. 居合わせた第三者の所持品・身体への捜索

- ・古江頼隆『事例演習刑事訴訟法〔第3版〕』（有斐閣，2021年）137-144頁。
- ・井上正仁『強制捜査と任意捜査〔新版〕』（有斐閣，2014年）276-330頁。
- ・長沼範良=甲斐行夫「捜索の範囲（東京高判平成6年5月11日高刑集47巻2号237頁）」法教314号（2006年）52頁以下およびそこでの引用文献。
- ・新関雅夫ほか『増補 令状基本問題(下)』（一粒社，1996年）231頁以下〔島田仁郎〕
- ・村井敏邦=後藤昭編著『現代令状実務25講』（日本評論社，1993年）60頁以下〔高田昭正〕

3. 強制採尿令状による連行と立入り

- ・井上正仁『強制捜査と任意捜査〔新版〕』（有斐閣，2014年）78-151頁。
- ・石田倫識「判批」刑事訴訟法判例百選〔第10版〕（2017年）60-61頁。
- ・大澤裕=原田國男「強制採尿と強制採尿令状による採尿場所への連行（最三小決平成6年9月16日刑集48巻6号420頁）」法教316号（2007年）55頁以下
- ・大善文男「いわゆる強制採尿令状で、被疑者あるいは第三者の住居に立ち入ることができるか」別冊判タ35号（2012年）114頁以下
- ・田中康郎監修『令状実務詳解』（立花書房，2020年）792頁以下〔鈴木巧〕

ステップアップ

逮捕に伴う無令状捜索差押えを行うために、捜索差押えの実施に適する最寄りの場所まで被疑者を連行した上で、これらの処分を実施することを認めた最決平成8・1・29刑集50巻1号1頁の射程も意識しつつ検討したい。